

《商品名(略号)》 《投与量》 《経路》 《投与日》 《投与間隔》

ABVD(d)療法

ホジキンリンパ腫

			D1	D15	
DXR	25mg/m ²	div	↓	↓	28
BLM	10mg/m ² (max 15mg/body)	div	↓	↓	
VBL	6mg/m ² (max 10mg/body)	div	↓	↓	
DTIC	375 (250)mg/m ²	div	↓	↓	

※高齢者ではDITCは () 内の投与量

R±CHOP療法(G±CHOP療法)

CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫の場合はリツキサン投与

CD20陽性の濾胞性リンパ腫の場合は、リツキサンの代わりにオビヌツズマブ1000mg/bodyを投与

			D1	D2	D3	D4	D5	
リツキシマブ	375mg/m ²	div	↓					21
VCR	1.4mg/m ² (max 2mg/body)	div	↓					
DXR	50mg/m ²	div	↓					
CPA	750mg/m ²	div	↓					
PSL	100mg/body	分2	↓	↓	↓	↓	↓	

R±miniCHOP療法

80歳以上の症例

CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫の場合はリツキサン投与

			D1	D2	D3	D4	D5	
リツキシマブ	375mg/m ²	div	↓					21
VCR	1mg/body	div	↓					
DXR	25mg/m ²	div	↓					
CPA	400mg/m ²	div	↓					
PSL	40mg/m ²	分2	↓	↓	↓	↓	↓	

R±THP-COP療法(G±THP-COP療法)

CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫の場合はリツキサン投与

CD20陽性の濾胞性リンパ腫の場合は、リツキサンの代わりにオビヌツズマブ1000mg/bodyを投与

			D1	D2	D3	D4	D5	
リツキシマブ	375mg/m ²	div	↓					21
VCR	1.4mg/m ² (max 2mg/body)	div	↓					
THP-ADM	50mg/m ²	div	↓					
CPA	750mg/m ²	div	↓					
PSL	100mg/body	分2	↓	↓	↓	↓	↓	

A+CHP療法

			D1	D2	D3	D4	D5	
アドセトリス	1.8mg/kg	div	↓					21
DXR	50mg/m2	div	↓					
CPA	750mg/m2	div	↓					
PSL	100mg/body	分2	↓	↓	↓	↓	↓	

A-AVD療法

			D1		D15		
アドセトリス	1.2mg/kg	div	↓		↓		28
DXR	25mg/m2	div	↓		↓		
VBL	6mg/m2	div	↓		↓		
DTIC	375mg/m2	div	↓		↓		

R±GDP療法

CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫の場合はリツキサンの投与

			D1	D2	D3	D4	D5	D9	
リツキシマブ	375mg/m2	div	↓						21
GEM	1,000mg/m2	div		↓				↓	
CDDP	75mg/m2	div		↓					
DEX	40mg/body	分1		↓	↓	↓	↓		

BR療法(GB療法)

CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫の場合はリツキサンの投与

CD20陽性の濾胞性リンパ腫の場合は、リツキサンの代わりにオビヌツズマブ1000mg/bodyを投与

			D1	D2		
リツキシマブ	375mg/m2	div	↓			28
トレアキシン	90mg/m2	div	↓	↓		

Pola+BR療法

再発または難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫

			D1	D2	
ポライビー	1.8 mg/kg	div	↓		21
リツキシマブ	375mg/m2	div	↓		
トレアキシン	90mg/m2	div	↓	↓	

Ibr+BR療法

未治療のマントル細胞リンパ腫

			D1	D2	
リツキシマブ	375mg/m2	div	↓		28
トレアキシン	90mg/m2	div	↓	↓	
イブルチニブ	560mg/body	po	↓	… … … … ↓	

R2療法

CD20を発現している再発または難治性の濾胞性リンパ腫及び辺縁帯リンパ腫

		D1 D8 D15 D21 D22					
リツキシマブ	375mg/m ²	div	↓	↓	↓	↓	28
レブラミド	20mg/body	分1	↓	…	…	↓ (休)	

2～5コース目はDay1のみリツキシマブ投与

(6コース目以降はレブラミドのみ)

Rituximab単剤療法

CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫の維持療法

CD20陽性の濾胞性リンパ腫の維持療法は、リツキサンの代わりにオビヌツズマブ1000mg/bodyを投与

		D1		
リツキシマブ	375mg/m ²	div	↓	2～3ヶ月毎

VR-CAP療法

		D1 D2 D3 D4 D5 D8 D11							
リツキシマブ	375mg/m ²	div	↓						21
DXR	50mg/m ²	div	↓						
CPA	750mg/m ²	div	↓						
BOR	1.3mg/m ²	sc	↓		↓		↓	↓	
PSL	100mg/body	分2	↓	↓	↓	↓	↓		

ブレンツキシマブ単剤療法

		D1		
アドセトリス	1.8mg/kg	div	↓	21

ロミデプシン単剤療法

		D1 D8 D15				
イストダックス	14mg/m ²	div	↓	↓	↓	28

Nivo単剤療法(q2W)

		D1		
Nivo	240mg/body	div	↓	14

Nivo単剤療法(q4W)

		D1		
Nivo	480mg/body	div	↓	28

Pembro単剤療法(q3W)

		D1		
Pembro	200mg/body	div	↓	21

Pembro単剤療法(q6W)

		D1		
Pembro	400mg/body	div	↓	42

ソブゾキサン+ETP内服療法

		D1 D2 D3 D4					
ペラゾリン	400mg/body	分1	↓	↓	↓	↓	21
ETP	25mg/body	分1	↓	↓	↓	↓	

エプコリタマブ療法

D1 D8 D15 D22

エプキンリ®皮下注	0.16mg/body	div	↓	28
	0.8mg/body	div	↓	
	48mg/body	div	↓ ↓	

以降48mg/bodyを2～3コースは週1回、4～9コースは2週に1回、10コース以降4週に1回
濾胞性リンパ腫Grade1～3AはDay15に3mg/bodyを投与（その他は同じ）

イブルチニブ単剤療法

再発・難治性のマントル細胞リンパ腫

イムブルビカ	560mg/body	分1	連日
--------	------------	----	----

イブルチニブ+ベネトクラクス併用療法（1クール目）

再発・難治性のマントル細胞リンパ腫

イムブルビカ	560mg/body	分1	連日
ベネクレクスタ	注)	分1	注)

注) 第1週目に20mg、第2週目に50mg、第3週目に100mg、第4週目に200mg、
第5週目に400mgをそれぞれ1日1回、7日間食後に経口投与する。
その後の維持投与期は、400mgを1日1回、食後に経口投与する。

イブルチニブ+ベネトクラクス併用療法（2クール目以降）

再発・難治性のマントル細胞リンパ腫

イムブルビカ	560mg/body	分1	連日
ベネクレクスタ	400mg/body	分1	連日

チラブルチニブ単剤療法

再発・難治性の中枢神経系原発リンパ腫

原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫

ベレキシブル	480mg/body	分1	連日
--------	------------	----	----

※食事の1時間前から食後2時間までの間の服用を避ければ用法変更可

ツシジノスタット単剤療法

再発・難治性の末梢性T細胞リンパ腫、成人T細胞性白血病リンパ腫

ハイヤスタ	40mg/body	分1	注)
-------	-----------	----	----

注) 週2回、3又は4日間隔で食後に経口投与する

バレメトスタット単剤療法

再発・難治性の末梢性T細胞リンパ腫、成人T細胞性白血病リンパ腫

エザルミア	200mg/body	分1	連日
-------	------------	----	----

フォロデシン単剤療法

再発・難治性の末梢性T細胞リンパ腫

ムンデシン	600mg/body	分2	連日
-------	------------	----	----

モスネツズマブ単剤療法（1クール目）

再発又は難治性の濾胞性リンパ腫

D1 D8 D15

ルンスミオ	1mg/body	div	↓	21
	2mg/body	div	↓	
	60mg/body	div	↓	

モスネツズマブ単剤療法（2クール目）

再発又は難治性の濾胞性リンパ腫

D1

ルンスミオ	60mg/body	div	↓	21
-------	-----------	-----	---	----

モスネツズマブ単剤療法（3-17クール目）

再発又は難治性の濾胞性リンパ腫

D1

ルンスミオ	30mg/body	div	↓	21
-------	-----------	-----	---	----